

**インベスコ ソブリン投資家への過去10年分のグローバル調査結果を
分析した「インベスコ グローバル・ソブリン・アセット・マネジメント・スタ
ディ2013-2022」を発表**

米国がソブリン投資家の選好地として米国が1位を獲得し、インドが2位と続く。

当資料は、インベスコ・グループが 2022 年 11 月 21 日に発表したプレスリリースの日本語抄訳版であり、当資料の内容および解釈については原文（英語）が優先されます。

- **本調査レポートでは、ソブリン・ウェルス・ファンドと中央銀行からなるソブリン投資家の投資行動に関する10年間の独自データを分析**
- **ソブリン投資家が33兆ドルもの影響力あるグローバル投資家に成長したことを示唆**
- **ソブリン投資家が選好する市場として、米国が英国にとって代わり、インドが第2位に浮上**
- **債券への投資が再び勢いづいており、プライベート・アセットへの配分は急速に増加しているものの、今後減速し始める可能性も**
- **今後10年間の注目点は、人口動態をどの程度考慮するかであり、米国から新興市場にエクスポージャーをどの程度傾けるかが今後の鍵**

ロンドン 2022年11月21日 - インベスコは本日、ソブリン投資家と中央銀行の投資動向について詳細な分析を提供するインベスコ グローバル・ソブリン・アセット・マネジメント・スタディの10周年記念号「インベスコ グローバル・ソブリン・アセット・マネジメント・スタディ2013-2022」を発表しました。過去10年の調査分析を追うと、ソブリン投資家に選好される市場として人気を博した英国が、第4位に転落したことがわかりました。2014年英国はソブリン投資家にとって最も望ましい投資先としてランク付けされていましたが、現在、米国、インド、ドイツに遅れをとっています。また、過去10年間に収集されたデータに基づくと、ソブリン投資家が、グローバル投資家として、その規模と重要性に見合ったリーダーシップの役割を担う、非常に影響力のある公的機関へと変化したことも示されています。

ソブリン・ウェルス・ファンドの成功が新たなファンドの立ち上げを後押し

最初の調査以来、ソブリン投資家は規模を拡大し、世界で最も影響力のある機関投資家の一部になり、現在では**33兆ドル***もの資産を管理しています。ソブリン投資家は、透明性、説明責任、そして前向きな経済的および社会的変化を推進することが期待される知名度の高い公的機関に成熟したと言えます。

一部のソブリン・ウェルス・ファンドが成功したことにより、多くの国が独自のソブリン・ウェルス・ファンドを立ち上げるようになりました。過去10年間で、地域経済の多様化と発展にコミットするファンドである「開発ソブリン」の数は着実に増加しています。いくつかの新興市場、特にアフリカの政府は、長期的な開発を推進する上で自分たちが果たすことができる役割をますます認識しています。過去10年間で、12の新しいソブリン・ウェルス・ファンドがアフリカで設立され、そのうち11は地域経済の発展において戦略的な役割を果たしています。

「開発ソブリン」は、数が増えるだけでなく、洗練され、拡大してきました。かつては国有資産のカストディアンと見なされていましたが、現在では積極的なリターン目標を持つ従来からのグローバル投資家と同じような存在になっています。

2013/14年度には開発ソプリンのポートフォリオの**79%**を占めていたDSI（直接戦略投資）は、2022年には**46%**に低下し、株式、債券、オルタナティブの配分が拡大しました（**図1**）。

米国が英国に取って代わり選好される市場として1位に

2014年の調査時点では、ソプリン投資家は、英国を最も望ましい投資先と見なし、ドイツと米国がそれに続きました。しかし、その後、米国は着実な経済成長、強い通貨、規制の安定性により、今や英国に取って代わりました（**図2**）。

過去10年間、米国は主要な投資先でしたが、最近の調査インタビューでは、よりバランスの取れたグローバルなエクスポージャーへの要望が高まっていることが明らかになりました。一部のソプリン投資家は、米国市場からのリターンに過度に依存するようになり、2022年の株式市場の調整に対して脆弱になっていると考えています。

リバランス先は新興市場か

新興市場は、この米国への偏りからのリバランスの恩恵を受ける可能性が高いと思われます。

インドは最も人気のある新興市場として中国を追い抜き、2014年の調査時点で、全体で9番目に好まれる市場だった位置から、2022年には全体で2位に上昇しました。これは、アジアにアロケーションを集中的に行うファンドが中国へのエクスポージャーを削減していることも一因ですが、投資家はインドの前向きな経済改革と良好な人口動態の状況を称賛しています。

「人口動態に関する分析は、ソプリン投資家との最近の議論の重要なテーマでした」と、**インベスコの英国拠点でヘッド・オブ・パブリック・インスティテューションズを務めるロッド・リングロー**は述べています。「超長期の投資家として、ソプリン投資家は、他のタイプの機関投資家を思いとどまらせる可能性があるような、人口が急速に増加している国でしばしば見られる政治的および通貨リスクにもっと慣れていきます。こうした国々の市場は、特に不動産とインフラにおいて長期的な機会を提供すると見られています。」

プライベート・アセットへの配分はピークか？

低利回りの中での多様化を追求するために、ソプリンによるプライベートエクイティ、不動産、インフラへのアロケーションは、2013年の8%から2022年には**22%**に増加しました。ソプリンは現在、**7,190億ドル**ものプライベート・アセットを運用しており、2011年の**2,050億ドル**から増加しています**。

しかし、ソプリン投資家はこれらの資産をめぐって他の大手機関投資家と競争しなければならず、最近のインタビューでは、多くの人がこのペースを今後10年間維持できるかどうか疑問視しています。APACを拠点とするある回答者は、「プライベート・アセット市場に対する需要がこれまで以上に大きくなっており、価格設定の面でアセット・オーナーに不利な状況が生まれていることから、長期的には課題が生じる可能性が高い」と述べています。

利回りの上昇によって、新しい局面が訪れる可能性があります。2013/14年度から2021/22年度にかけて、債務ソプリンによる債券投資の配分は**38%**から**29%**に減少しましたが、この傾向は今後数年間で逆転する可能性があり、債券が再び注目される可能性があるると多くの人が指摘しています。

「過去10年間、ソプリン投資家は追い風を受けて投資を実践することができました」と **リングロー** は述べ、そして

「本調査のインタビューに協力してくれたソブリン投資家は、過去10年間取り組んできたマクロ経済の前提に、金融引き締め政策が新たな課題を突き付けてきている状況に現在あり、はるかに困難な環境がこの先にあると考えています。とはいえ、ソブリン投資家はほかの投資家とは異なる視野を持ち、バリュエーションの低下があれば長期的な投資機会として考えられる魅力的なエントリーポイントになると考えられます。」

「過去10年間、ソブリン投資家は適応し、進化し、変動する市場を乗り切り、投資機会を適切に活用するための戦略を開発してきました。2022年はある意味で転換点のようにも見え、今後10年間も新しく起きることに対して、過去10年と同様に、柔軟な対応を続ける必要があるでしょう。」と述べています。

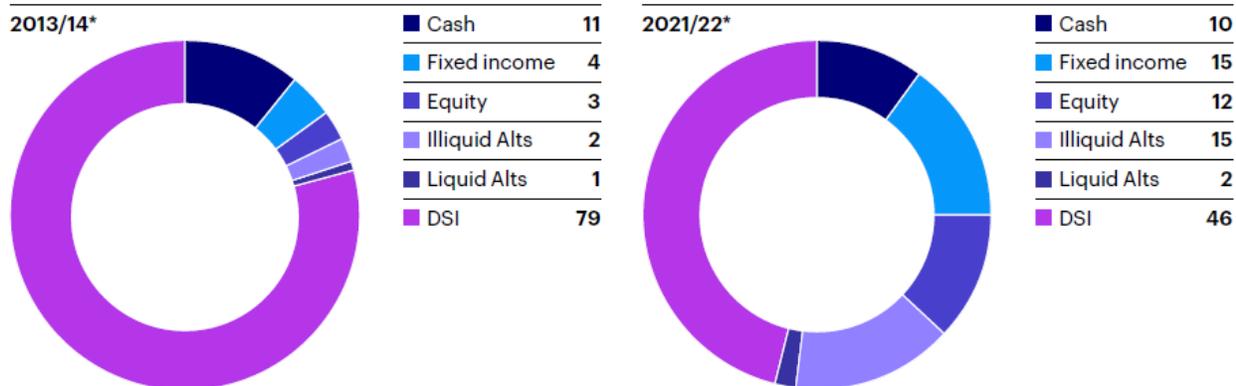
以上

* 出所：<https://www.swfinstitute.org/news/90462/sovereign-wealth-fund-and-public-pension-assets-reach-record-33-trillion-for-2021>

** 出所：<https://www.preqin.com/insights/research/blogs/swfs-in-alternatives-in-pursuit-of-higher-returns>

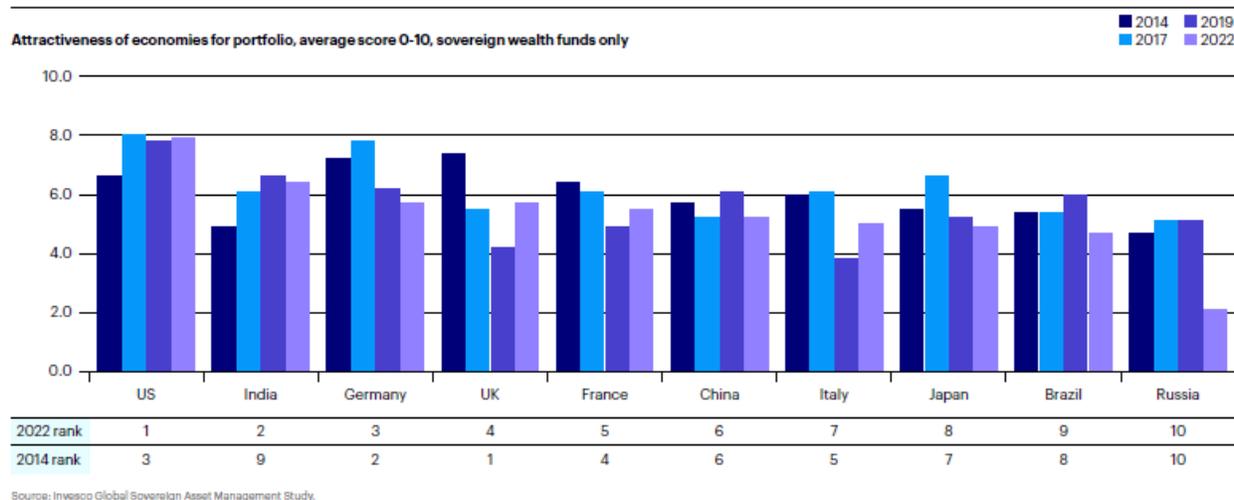
図 1. 開発ソブリンの資産配分、平均値 (%)

Development sovereigns' asset allocation, average %



*Two-year average. Source: Invesco Global Sovereign Asset Management Study.

図2. 投資先としての魅カランキング、平均スコア0~10、ソブリン・ウェルス・ファンドのみ



注記:

インベスコ グローバル・ソブリン・アセット・マネジメント・スタディの発行は2013年に始まり、今までに10回発行しています。

インベスコについて

インベスコは、「素晴らしい投資体験を通じて、人々の人生をより豊かなものにする」ことを会社の存在意義として掲げ、グローバルな運用力を提供する世界有数の独立系資産運用会社です。インベスコは、グローバル市場で培った特色ある運用力を強みとするブランドを傘下に収め、世界中の個人投資家、機関投資家などの顧客の資産運用ニーズに対し、グループの総合力を結集して包括的な解決策を提供しています。インベスコは、世界25か国以上に拠点を置き、ニューヨーク証券取引所に上場しています（証券コード：IVZ）。インベスコに関する詳しい情報は、[ウェブサイト](#)（英語）で入手することができます。

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社について

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社は、「素晴らしい投資体験を通じて、人々の人生をより豊かなものにする」ことを会社の存在意義として掲げ、グローバルな運用力を提供する世界有数の独立系資産運用会社インベスコの日本拠点です。インベスコ・アセット・マネジメント株式会社は、内外の公的年金・企業年金、事業法人、銀行や保険会社など機関投資家を対象に、株式や債券などの伝統的な投資戦略からオルタナティブなど非伝統的な投資戦略まで幅広い商品およびサービスを提供しています。また、銀行・証券会社・保険会社などを通じて個人投資家向けの投資信託およびサービスを提供しています。インベスコ・アセット・マネジメント株式会社に関する詳しい情報は、[ウェブサイト](#)で入手することができます。

その他の留意事項

当資料はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が、インベスコが作成した英文資料を抄訳し、情報提供を目的として作成したプレスリリースであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。抄訳には正確を期していますが、必ずしも完全性を当社が保証するものではありません。また、抄訳の場合には、原資料の趣旨を必ずしもすべて反映した内容になっていない場合があります。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また、当資料に示す見解は、インベスコの他の運用チームの見解と異なる場合があります。

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第306号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
〒106-6114
東京都港区六本木六丁目10番1号
六本木ヒルズ森タワー 14階
Telephone 03-6447-3000 2600836-JP